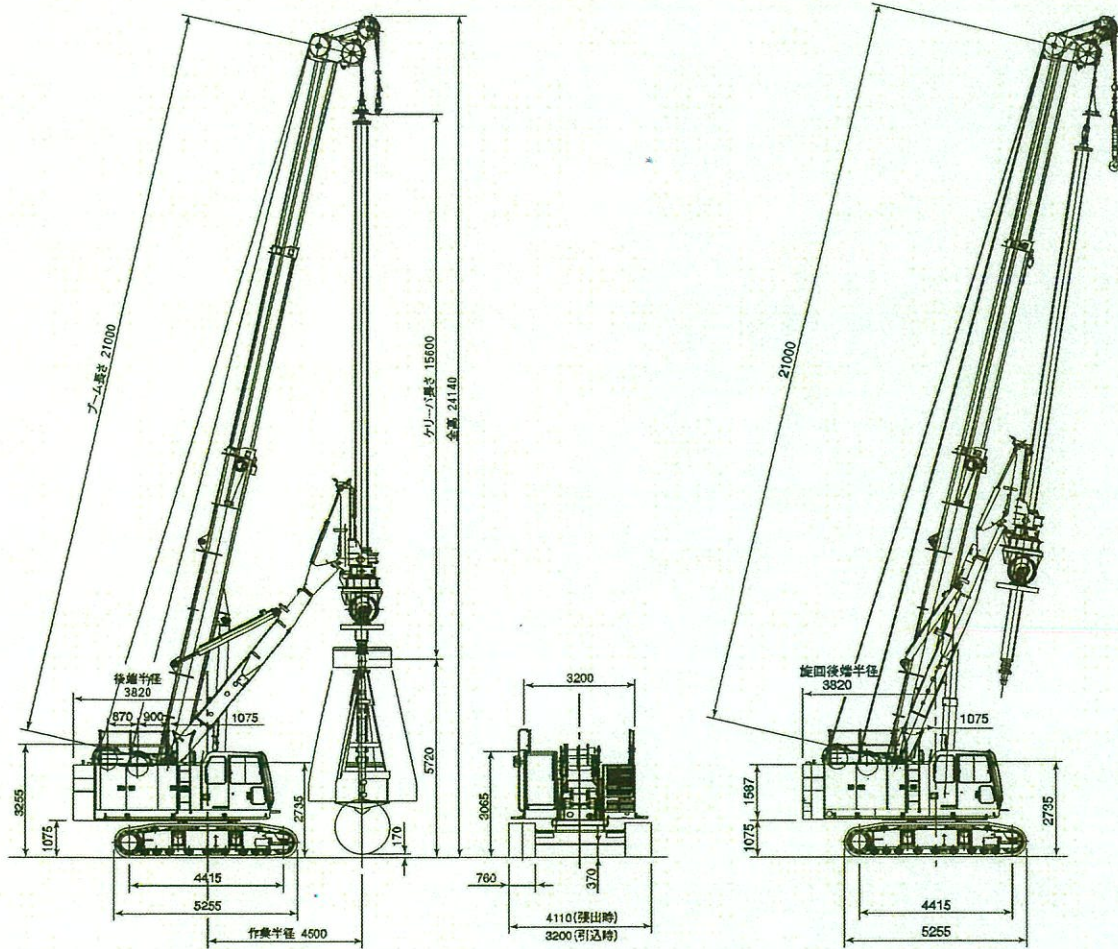


# 拡底仕様

## 寸法図

単位:mm



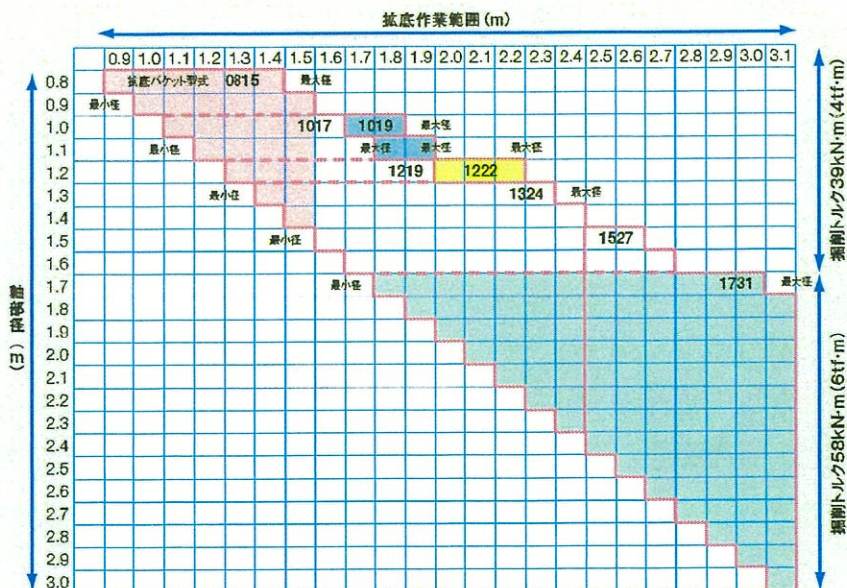
## 主要仕様 (SDX407-2)

		69kN (7t) 標準トルク仕様	88kN (9t) トルクアップ仕様
フロント形式		箱型3段伸縮ブーム	
ブーム長さ		21.0~10.5	
ケリーバ長さ(標準)		15.6×4段	
ケリーバ先端角サイズ		140	160
最大掘削深度(ケリーピン位置)		48.5	
最大掘削径	軸掘バケット 一般土質	2200	2600
	拡底バケット (ACE1/31バケット装着時)	3100	
掘削トルク		69/39 (7/4)	88/69/39 (9/7/4)
最大補助つり能力		13.0	
バケット回転数		21/10.5 (21/10.5)	19/9.8 (19/9.8)
ケリーバ巻上/下速度		62	
補助作業巻上/下速度		62	
旋回速度		3.5 (3.5)	
走行速度 高/低		1.9/1.5	
スラストストローク		560	
スラスト作用力		98.1 (10)	
エンジン	型式	いすゞ 4HK1X	
	定格出力	147/2100 (200/2100)	
全装備質量		68.6	
平均接地圧		100 (1.02)	

注:1.本表の単位は国際単位系によるSI単位表示、( )内は従来の単位表示を併記したものです。2.作業速度はブーム角度、負荷により変化します。  
 3.補助つり能力とは、アースドリル施工時のスタンドパイプ、鉄筋カゴ、トレミー管等のつり込み作業時のつり能力を示します。4.アースドリル仕様機を補助つり含めクレーン作業には、クレーン検査の取得が必要です。  
 5.全装備質量および平均接地圧の条件は以下の通りです。ケリーバ、ホースリール付、ただしバケットを除く。6.最大掘削径は土質、地盤等の状況により変化します。  
 7.拡底バケット(ACE工法)装着時の掘削径は「掘削バケット作業範囲図」を参照ください。

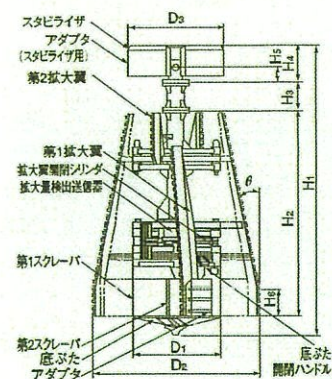


■ 拡張バケット作業範囲図



注1. 拡張バケット作業範囲の一例として、0815型バケットの作業範囲を [ ] 部、1019型バケットの作業範囲を [ ] 部、1222型バケットの作業範囲を [ ] 部、1731型バケットの作業範囲を [ ] 部として表示しました。  
 注2. 拡張杭の計画に当たっては、使用する掘削機や土質によって施工可能範囲が異なりますので、弊社拡張バケットによる財団法人日本建築センターの評定取得基礎施工会社にご相談願います。

■ 拡張バケット寸法図



■ 拡張バケット寸法表

拡張バケット型式		0815	1017	1019	1219	1222	1324	1527	1731	
D1:バケット口径*1	mm	720(880)	900	900	1080	1080	1180(1340)	1380(1540)	1580(1740)	
D2:最大口径*1	mm	1400(1500)	1600(1700)	1800(1900)	1920	2200	2300(2400)	2600(2700)	3000(3100)	
D3:最小スタビライザ径*1,*2	mm	770(870)	970(1070)	970(1070)	1170	1170	1270(1370)	1470(1570)	1670(1770)	
H1:全高	mm	3440	3450	3850	3490	4190	4040	4070	5500	
H2:バケット高さ	mm	2110	2110	2950	2325	3255	3100	3100	3750	
H3:ジョイント高さ	mm	310	310	0	0	0	0	0	700 *5	
H4:スタビライザ高さ*3	mm	830	830	680	920	680	680	680	680	
H5:ケリージョイント高さ	mm	710	710	290	800	290	290	290	290	
H6:拡大翼垂直部高さ	mm	500	500	500	500	500	500	500	500	
θ:拡大翼傾斜角	度	12	12	12	12	12	12	12	12	
スタンド質量	kg	370	340	340	310	310	390	400	450	
質量*1,*4	39kN・m(4tf・m)用	kg	2000(2230)	2300(2460)	3240(3410)	3290	4560	4680(5000)	5060(5470)	—
	59kN・m(6tf・m)用	kg	—	—	—	—	—	—	7100(7580)	—
	98N・m(10tf・m)用	kg	—	—	—	—	—	—	—	7220(7700)

\*1. ( )内は、アダプタを装着したときの値を示します。 \*2. 軸径に合わせてスタビライザを付け替える必要があります。 \*3. 39kN・m用バケットの1019型、1222型、1324型、1527型バケットは、ケリーバ取付ボスがスタビライザのドラムの中にかかれます。59kN・mおよび98kN・m用の1731型バケットは、ケリーバ取付ボスがスタビライザのドラムの中にかかれます。  
 \*4. スタビライザおよびスタンドの質量を含みます。 \*5. 1731型バケット使用時はジョイントを外してください。

■ 拡張仕様 / 補助つり作業定格総荷重表

最大補助つり能力13%

作業半径 (m)	21.0mブーム	
	ケリーバ無 (t)	ケリーバ有 (t)
5.0	13.0	13.0
5.4	13.0	13.0
5.5	13.0	12.7
6.0	13.0	11.2
6.5	12.2	9.9
7.0	11.0	8.7
7.5	10.2	7.8
8.0	9.2	6.9
9.0	7.8	5.5
10.0	6.7	4.3
11.0	5.8	3.4
12.0	5.0	2.6
13.0	4.3	1.9
14.0	3.7	1.3
15.0	3.3	—
16.0	2.9	—
17.0	2.4	—
17.4	2.3	—

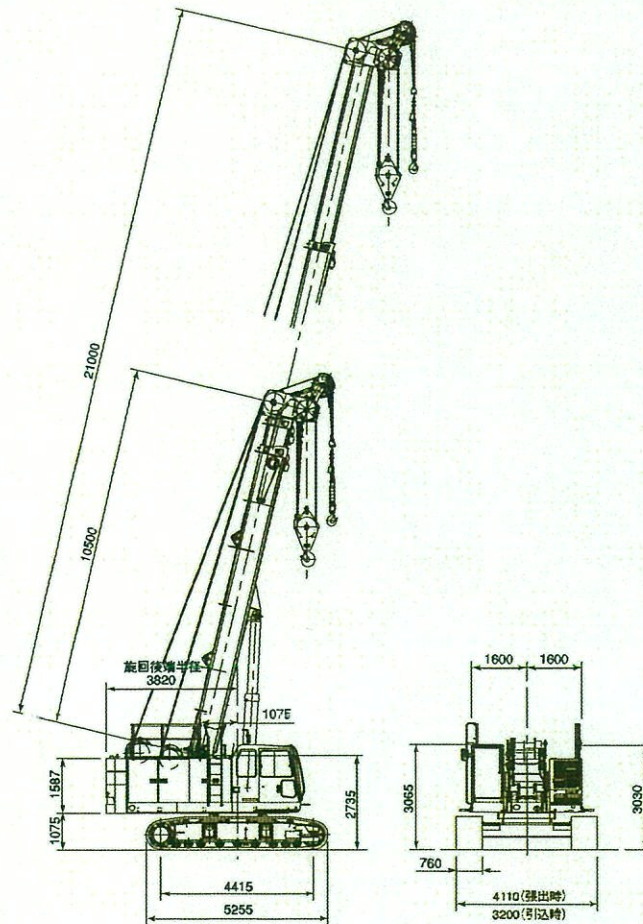
注: 1. 本表に示す定格総荷重は水平堅土上における値で、転倒荷重の78%以内であり、同時に移動式クレーン構造規格で定める前方安定度の双方を満足する値です。  
 2. 定格荷重性能は、上記の値から「移動式クレーン明細書」に記載してあるフック質量(捕フック)を差し引いた値です。ただし上表により算出した定格荷重性能が「使用フックの容量」を超える場合は、「使用フックの容量」を定格荷重性能の値とします。  
 3. 作業を行う場合には、必ずクローラを拡張してください。  
 4. 補助作業を行う場合にはロータリテーブルを最下限にし、フロントフレームをブーム側へ引き寄せて下さい。  
 5. ケリーバ長さは15.6m、カウンタウエイトは11tです。



# クレーン仕様

## ■寸法図

単位:mm



## ■主要仕様(5DX407-2)

最大つり上げ荷重	t×m	40×4.0
ブーム形式		箱型3段伸縮ブーム
ブーム長さ	m	21.0~10.5
ロープ速度(フロント/リヤ)	m/min	62
旋回速度	min <sup>-1</sup> (rpm)	3.5(3.5)
走行速度	m/s(km/h)	1.9(1.5)
エンジン	型式	いすゞ 4HK1X
	定格出力 kW/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)	147/2100(200/2100)
登坂能力	%	30
平均接地圧	kPa(kgf/cm <sup>2</sup> )	78.5(0.80)
全装備質量	t	54.0

注: 1.本表の単位は国際単位系によるSI単位表示、( )内は従来の単位表示を併記したものです。 2.作業速度はブーム角度、負荷により変化します。  
3.全装備質量および平均接地圧の条件は以下の通りです。40tフック付